

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

フィルムセンター開館40周年記念①
発掘された映画たち2010

The 40th Anniversary of National Film Center Part 1
Cinema: Lost and Found 2010

2010年5月11日(木)～5月27日(木)

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

協力：映画保存協会、川崎市市民ミュージアム、

大阪芸術大学 玩具映画プロジェクト、京都府京都文化博物館、

広島市映像文化ライブラリー、福岡市総合図書館、

プラネット映画資料図書館、立命館大学アート・リサーチセンター

5月の休館日：

月曜日

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制) *5月23日(日)1:00pmの回のみ定員304名

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

発券=2階受付

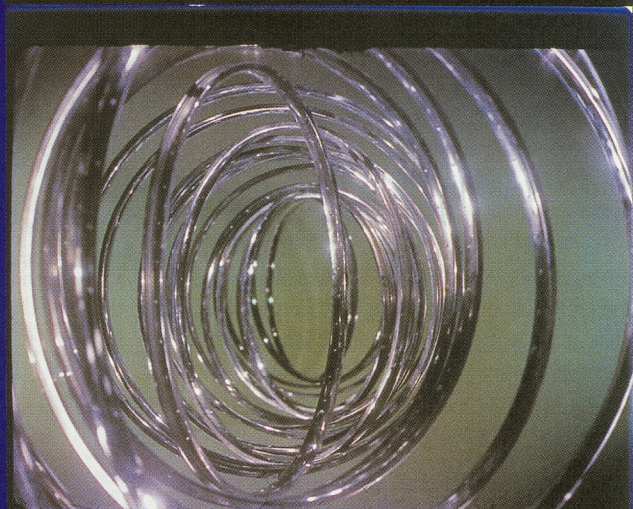
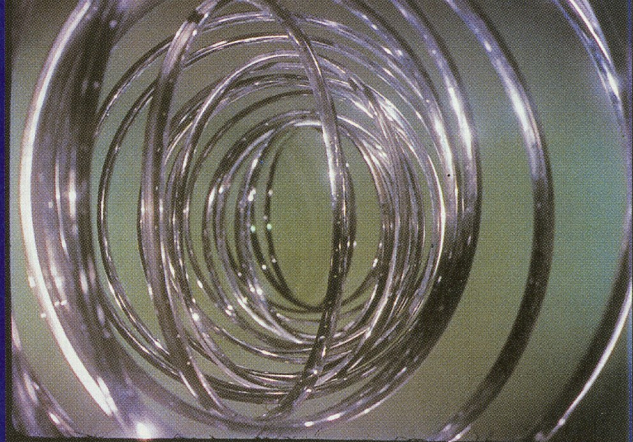
- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。



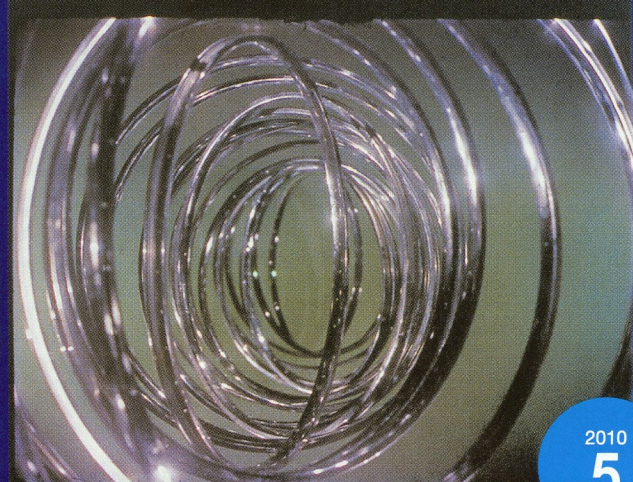
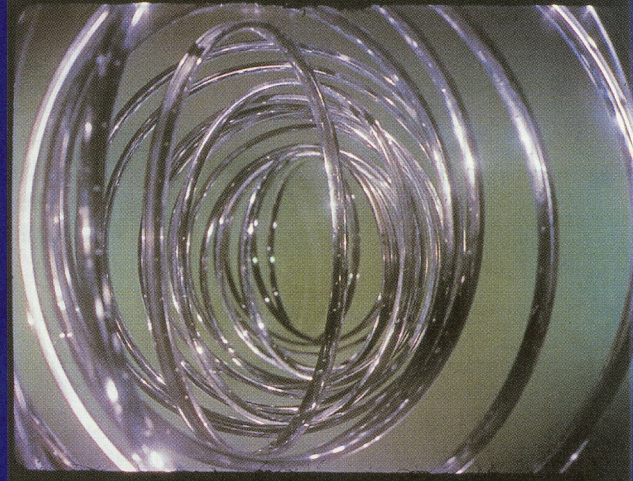
東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center

The National Museum of Modern Art, Tokyo



発掘された映画たち2010



2010

5

NFCカレンダー
2010年5月号

大ホール 上映作品

フィルムセンター開館40周年記念①
発掘された映画たち2010
The 40th Anniversary of National
Film Center Part 1
Cinema: Lost and Found 2010

フィルムセンターが新たに発掘・復元した映画を紹介する企画「発掘された映画たち」は、1991年の開催から数えて、今回で8回目を迎えます。これまでの上映では、1990年度に寄贈された小宮登美次郎氏の外国無声映画コレクションをはじめ、1996年にロシアの Gosfilmofond で発見された戦前の日本映画、2007年に発見された現存する日本最古のアニメーション映画『なまくら刀』(1917年)、現存最古の日本映画で昨年映画フィルムとしては初めて重要文化財に指定された『紅葉狩』(1899年)、最新のデジタル技術を用いた『羅生門』(黒澤明監督、1950年)の復元プリント(今年の全米映画批評家協会賞で「映画遺産賞」を受賞)などをお披露目してきました。

フィルムセンターの開館40周年を記念する上映企画の第1弾となる今回は、当センターはもちろん、国内各地のフィルム・アーカイブ機関・団体による最新の発掘・復元の成果や担当者のトークもまじえながら、我が国における映画保存運動の最前線を検証します。この企画を通して、文化財・歴史資料としての視聴覚遺産を保存することの大切さを再認識するきっかけにしていければ幸いです。

- ⑤=監督・演出 ⑥=原作・原案 ⑦=脚本・脚色
- ⑧=構成 ⑨=撮影 ⑩=美術・舞台装置 ⑪=編集
- ⑫=音楽 ⑬=出演 ⑭=解説・ナレーション
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 各プログラム中の上映順序は変更になる場合があります。

フィルムセンター
プログラム

A

N

F

C

東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

A-1 5/11(火)3:00pm 5/23(日)4:00pm★

実験映画の系譜：荻野茂二から松本俊夫へ (計90分)

戦前は国内外の小型映画コンクールで次々と入賞し、戦後はオギノ8ミリ教室を主宰してアマチュア映画の普及に努めた個人映画作家のバイオニア・荻野茂二(1899-1991)の諸作品と、2005年に発掘されて話題となった『銀輪』(矢部正男、松本俊夫、樋口源一郎監督、1955年)のデジタル復元版を上映。荻野作品は、1990年代前半に御子息から寄贈されたフィルム群から、これまで7本を35mmプリントにブローアップして復元してきたが、今回は新たに5本を復元した。上野松坂屋の広報映画『母を迎えて』、ドイツの「都市映画」『伯林 大都会交響楽』(W・ルットマン監督、1927年)の影響が垣間見える『街』、水の流れを抽象映画として表現した『River』、「文化映画」的要素の強い『寒天』(原版は16mm)、そして戦前からの「水」のテーマに連なる『水の幻想』(原版はスーパー8)である(特記以外は9.5mmからのブローアップ)。

街(14分・16fps・35mm・白黒・無声)

⑩⑪⑫荻野茂二

母を迎えて(16分・16fps・35mm・白黒・無声)

⑩⑪⑫荻野茂二

?/三角のリズム/トランプの争

(4分・16fps・35mm・白黒・無声)

⑩⑪⑫荻野茂二

RIVER(6分・16fps・35mm・白黒・無声)

⑩⑪⑫荻野茂二

PROPAGATE(開花)

(4分・16fps・35mm・白黒・無声)

⑩⑪⑫荻野茂二

AN EXPRESSION(表現)

(3分・30fps・35mm・彩色・無声)

⑩⑪⑫荻野茂二

RHYTHM(2分・16fps・35mm・白黒・無声)

⑩⑪⑫荻野茂二

寒天(16分・35mm・パートカラー)

⑩⑪⑫荻野茂二

水の幻想(13分・35mm・カラー)

⑩⑪⑫荻野茂二

銀輪[デジタル復元版・アナログ三色合成版]

(12分・35mm・カラー)

BICYCLE IN DREAM

日本自転車工業会

の海外PR用短篇。

少年の自転車へのあ

こがれを幻想的な表

現で映画化した一種

のシネポエムで、日

本の実験映画史にお

いても伝説的な作品

とされていたが、2005年にオリジナル・ネガが発見さ

された。今回は新たに、松本俊夫監督の監修のもとでデ

ジタル復元を実現するとともに、三色分解した白黒ネ

ガを光学的に合成した版を上映する(復元:

IMAGICA, IMAGICAウェスト)。

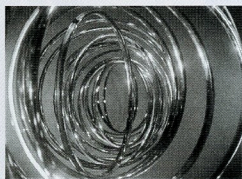
⑩⑪⑫(新理研映画)⑬⑭⑮松本俊夫⑯⑰矢部正男、樋口源一郎

⑱⑲北代省三、山口勝弘⑳㉑荒木秀三(特殊撮影)㉒円谷英二㉓

北代省三、山口勝弘㉔武満徹、鈴木博義

★印の回は上映後に松本俊夫氏(『銀輪』監督)を招いての

トーク・イベント(約20分)があります。



大正十一年九月二十二日 故寺島豊次郎氏 告別式 及 経歴

(11分・16fps・35mm・染色・無声)

1890年代にニューヨークの大学で学び、帰国後は鉄道局の技師として勤務するかたわら、民間の発明家として活躍した寺島豊次郎の功績をたたえる一種の伝記映画で、寺島氏の没後に関係者によって制作された珍しい作品。ご遺族の寺島美智子氏から寄贈いただいた35mmの可燃性染色プリントから復元した。

⑩⑪⑫小宮山熊次郎

白耳義國ニ於ケル亜麻ノ耕作ト製線ノ實況(25分・15fps・35mm・染色・無声・不完全)

ベルギーにおける亜麻(リネン)の近代的な栽培方法を、日本人技師による長期ロケによって丹念に記録した作品。帝国製麻株式会社(現・帝国繊維)の技師が1927年から1928年に掛けて撮影したものであるが、上映するのは日本商会という製作会社が1935年に編集した版。現存する可燃性オリジナル・ネガと上映用プリントはそれぞれ欠落があったが、ふたつの素材から今回「最長版」を作成して上映する。

⑩⑪⑫(日本商会)

紅葉狩[デジタル復元版]

(6分・16fps・35mm・白黒・無声)

日本人が撮影した現存する最古の映像。日活から寄贈された可燃性デュープ・ネガが2009年に映画フィルムとして初めて国の重要文化財に指定された。今回は全篇のデジタル復元を試み、現時点で最良の映像で御覧いただく(復元:IMAGICA, IMAGICAウェスト)。

⑩⑪⑫柴田常吉⑬⑭九代目市川團十郎、五代目尾上菊五郎、二代目尾上丑之助

攝政宮殿下活動寫真展覧會御台覧実況

(3分・16fps・35mm・白黒・無声・不完全)

1921年12月8日、摂政宮(後の昭和天皇)が、湯島聖堂内の「東京博物館」において開催中の「活動写真展覧會」を視察した際の記録映像。摂政宮が博物館に到着し、展示物を視察される様子が映し出される。1960年代にアメリカ議会図書館から里帰りした「返還映画」の1本であるが、今回は『史劇 楠公訣別』とセットにして上映する。

⑩⑪

史劇 楠公訣別

(17分・16fps・35mm・白黒・無声)

『攝政宮殿下活動寫真展覧會御台覧実況』と対になる作品で、展示物を視察された摂政宮が、その後、屋外で日活の時代劇スター・尾上松之助一派による「櫻井の別れ」の実演をご覧になる様子が記録されている。2005年に日活から寄贈された可燃性オリジナル・ネガに対して、2010年3月に国の重要文化財指定の答申がなされた(上映するのは不燃化したプリント)。

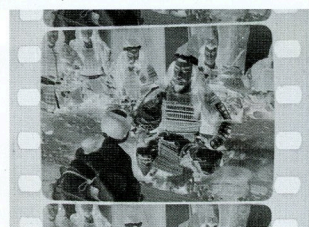
⑩⑪

★印の回は上映後に板倉史明(フィルムセンター研究員)による解説(約20分)があります。



『史劇 楠公訣別』 重要文化財指定へ

文化審議会が3月19日、フィルムセンター所蔵の『史劇 楠公訣別』(35mm可燃性オリジナル・ネガフィルム、1,053フィート15コマ)を重要文化財に指定するよう、文部科学大臣に答申しました。昨年の『紅葉狩』に続き映画フィルムとしては2度目の重要文化財指定となるもので、これからの映画保存運動にも大きな弾みがつくことが期待されます。



A-2 5/11(火)7:00pm★ 5/21(金)3:00pm

戦前の記録映画・小型映画特集

(計83分)

小鷲の蕃殖 千葉縣新浜御獵場に於て昭和六年五月撮影

(9分・16fps・35mm・白黒・無声)

財団法人山階鳥類研究所(千葉県我孫子市)から2009年に寄贈されたフィルムの1本で、(現)宮内庁新浜御獵場(千葉県市川市)に生息するコサギの産卵から巣立ちまでの様子を記録した作品(原版は16mm反転プリント)。戦前の同研究所内に設置されていた「ヤマシナ映画部」は鳥類の記録映画を精力的に制作しており、日本における鳥類研究の貴重な映像資料といえる。

⑩⑪(ヤマシナ映画部)

夏祭(8分・18fps・35mm・カラー・無声)

1937年に開催された京都の祇園祭と大阪の天神祭の様子を記録したカラー作品で、原版は16mmのコダクロム・フィルム。73年前の人々の熱気が生々しく伝わってくる。神戸市の会社員であった榊田和三郎(1896-1978)が1930年代に撮影した9.5mmと16mmのコレクションの1本で、御子息の榊田輝郎氏から寄贈いただいた。

⑩⑪⑫榊田和三郎

カムイ 熊神(4分・16fps・35mm・カラー・無声)

陶芸家として知られる川喜田久太夫(半泥子)の長男として生まれ、1930年代にアマチュア映画作家として数多くのホーム・ムービーや記録映画を制作した川喜田壮太郎(1894-1972)。石水博物館(三重県津市)が管理していたそのフィルム一式が、2008年に寄贈された(寄贈者:川喜田淑氏)。本作は1938年に北海道・不老を訪れた壮太郎が、アイヌ民族のイオマンテ(熊送り)の儀式を撮影したもので、この時代のアイヌ民族のカラー映像として貴重なものである(原版はレギュラー8)。なお、フィルムセンターの展示室では、壮太郎制作の『あこがれ』[スタジオF版](1935年)も随時上映しているので御覧いただきたい。

⑩⑪⑫川喜田壮太郎

A-3 5/12(水)3:00pm 5/27(木)7:00pm

土[最長版](117分・35mm・白黒)

小作農の一家の厳しい生活をリアリティに描いた内田吐夢の戦前の代表作。封切り当時は142分の長さであったが、1968年に東独の国立映画保存所で発見されたのは、戦前のヴェネチア国際映画祭に出品するため短縮された版で、冒頭と結尾の巻が欠落した93分のフィルムであった。1999年には、ロシアの Gosfilmofond で冒頭の巻などを含む115分の版が発見された(結末部分は欠落)。今回上映するのは、東独版の93分とロシア版の24分(いずれもドイツ語字幕)を合わせた117分の「最長版」である。



'39(日活多摩川)◎内田吐夢◎長塚節◎八木隆一郎、北村勉◎碧川道夫◎堀保治◎乗松明宏◎小杉勇、風見章子、どんぐり坊や、山本嘉一、見明凡太郎、山本礼三郎

A-4 5/12(水)7:00pm 5/20(木)3:00pm

CIE映画選集 (計63分)

CIE映画(別名・ナトコ映画)は、GHQの民間情報教育部(CIE)が日本人教育を目的に製作した教育映画。桐生市図書館旧蔵の35mmプリント計85作品のうち、すでにフィルムセンターは27本を復元して紹介してきたが、今回はラジオ・新聞・テレビといったメディアに関する作品を中心に、新たに5本を復元して上映する。

CIEフィルムスケッチ第一八集

イギリスは語る(9分・35mm・白黒)

前半は、イギリス放送協会(BBC)の海外向けラジオの短波を送信する原理を解説。後半は、イギリスからオランダへ海底電線を敷設する船の活動を紹介します。

'49(マリンフィルム)

新聞の自由(17分・35mm・白黒)

FREEDOM OF THE PRESS

健全な世論を形成するために必要な新聞メディアの役割を解説した作品。監督のアレキサンダー・ハミッドは、実験映画作家マヤ・デレンの夫でもある。



'50(アフィエータード・フィルム)◎アレキサンダー・ハミッド◎ベーン・カーナー◎ビター・グラシュノック

CIEフィルムスケッチ第二八集

テレビジョン教室(9分・35mm・白黒)

TELEVISION WORKSHOP

日本でテレビ放送が開始されるのは1953年だが、本篇はその3年前に公開された作品で、テレビの社会的な重要性を紹介する内容となっている。

'50(日本映画社[日本語版製作])

働くアメリカ婦人(19分・35mm・白黒)

AMERICAN WORKING WOMEN

工場、銀行、研究所、商店で働く4人の女性たちの生き様や人生観を紹介しながら、アメリカ社会のなかで躍進する女性たちの活躍を描いた作品。

'50(RKOパテ会社)

新しい隣人(9分・35mm・白黒)

NEW NEIGHBORS

ニュージャージー州の近代的な野菜加工農場で働く日系アメリカ人の家族を主人公に、多様な人種の人々が協力して野菜を生産・加工する民主的な姿が描かれる。

'52

A-5 5/13(木)3:00pm 5/26(水)7:00pm

プラネット映画資料図書館共同復元作品

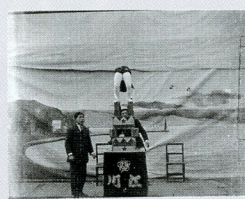
(計77分)

1974年に設立されたプラネット映画資料図書館(代表:安井喜雄氏)は、大阪を拠点に映画フィルムや映画関連資料を収集・上映する民間組織である(原版保存:神戸映画資料館)。フィルムセンターは、同図書館と共同で、数多くのフィルム復元を実施してきたが、今回は近年収蔵した未上映作品4本を紹介する。

元祖 大曲藝連鎖 東京江川巡業部

(1分・15fps・35mm・白黒・無声・不完全)

「江川の玉乗り」として、明治期から大正期にかけて浅草で活躍した曲芸一座が出演した映像。わずかな断片であるが、芸能史的な観点からは歴史資料の価値の高い映像であろう。



屋外のロケと舞台撮影をミックスした連鎖劇風の場面も映し出されていて興味深い。

大正時代

チャップリンとクーガン[仮題]

(11分・16fps・35mm・染色・無声・部分)

作品特定に至っていないが、西洋から映画監督と子役らしき人物が日本へやってきて、映画の撮影風景を見学するというアニメーションで、『キッド』(チャールズ・チャップリン監督、日本公開1921年)を連想させるチャップリン的な人物や、ジャッキー・クーガンの子役が登場する不思議な作品。

1920年代

少年美談 清き心

(30分・18fps・35mm・白黒・無声)

他人のお金を道端で拾って自分のものにしてしまった生徒に対して、担任の先生は寓話を用いて改心させようと試みるが…。コミカルな場面を挿入したり、意外な結末を準備して見るものを楽しませてくれる教育映画で、内田吐夢の現存最古の作品。主役の少年を演じた水島三千男は戦後まで活躍した俳優の水島道太郎。

'25(社会教育映画研究所)◎内田吐夢◎岡吉林貞二◎永井政次◎押本七之助◎水島三千男、兒島武彦、白井寿美子、邦江弘光、立花清、川田いね子、鈴木ます子、水島敏三郎、石森久太郎、西沢武夫

闇の手品(35分・18fps・35mm・白黒・無声)

闇夜の路上で見知らぬ男から大金を預かってしまった少年の心の葛藤を描いた作品で、正直さの美德を謳った教育映画。多重露光や特殊レンズを多用した映像表現に監督のセンスが光る。

'27(本庄映画研究所)◎鈴木重吉◎八木祐風◎酒井健三◎押本七之助◎相澤剛三、三田村次郎、高森正二郎、瀧澤藤三郎、長谷川栄二郎

京都京都文化博物館

プログラム

B



B-1 5/13(木)7:00pm 5/18(火)3:00pm

無憂華 九条武子夫人

(62分・16mm・白黒・無声解説版)

浄土真宗本願寺派第21代・大谷光尊の次女として生を受け、全国各地に仏教の教えを説きながら、一方では歌人としての才能を発揮して「大正三美人」の一人とも称された九条武子の伝記映画。九条家、西本願寺の協力のもと1930年に製作された無声映画だが、現存するのは1939年に仏教婦人会が女優・夏川静江によるナレーションを入れてトーキー化した版。



'30(東亜京都)◎根津新、後藤岱山◎九条武子、山中峰太郎◎柳原輝子◎河崎喜久三◎鈴村京子、三原那智子、高野豊洲、小川雪子、中村園枝、里見明、原駒子、みどり雅子、川島奈美子

B-2 5/15(土)4:00pm★ 5/19(水)3:00pm

京都文化のアーカイブ・コンテナとしてのフィルム

(計64分)

尾上松之助 葬儀

(22分・16fps・16mm・白黒・無声)

1926年9月11日、51歳で生涯を終えた我が国最古の映画スター・尾上松之助の葬儀実況。松之助の一人息子である中村房吉氏から1977年に寄贈を受けた。葬儀は同16日に日活社葬として営まれ、約20万人と言われる見送りの人出を、騎馬警官が出動して整理にあたる様子も記録されている。大將軍撮影所を会場とする焼香には衣笠貞之助、伊藤大輔、阪東妻三郎らの姿も見られる。



'26(日活大將軍)

マキノ省三葬儀の実況

(24分・16fps・16mm・白黒・無声)

1929年7月25日、52歳で死去した「日本映画の父」マキノ省三の葬儀実況。8月1日に池永三治(浩久)を葬儀委員長とする告別式が行われ、愛弟子達にかつがれた遺骨は千本座前から一条通りの旧法華堂撮影所、大將軍撮影所の傍らを通り、式場であるマキノ御室撮影所に入った。当時の西陣・千本通の実景や、マキノ映画人達が参列する姿などを記録した貴重な映像となっている。

'29(マキノ御室)

祇園祭山鉾巡行記録映像

(5分・16fps・35mm・白黒・無声)

昨年、ユネスコの世界無形文化遺産にも登録された祇園祭の記録映像。1930年、1937年に個人がパチベビー(9.5mm)で撮影したフィルムをもとに、2009年に35mmプリントを作成。当時の巡行ルート、懸装品という静かな情報をはじめ、曳き方、囃子方の所作、表情だけでなく、沿道の観客の表情や風俗など、80年前の巡行行事は現在とはかなり印象が異なる。

'30/'37

疏水 流れに沿って

(13分・18fps・16mm・白黒・無声)

大津・京都の疎水の開削計画は、1885(明治18)年着工、1890年4月に竣工した。わが国初の水力発電はわが国初の市街電車を走らせるなど、京都の産業の近代化に寄与した。8mmフィルムの草分け時代に撮影された本作は、琵琶湖の水が京都の町に向かって疏水の流れを流れていく様子をカメラで追いつきながら疏水の多面的な役割を詩情豊かに描く。1976年に京都府が能勢克男氏から16mmフィルムで寄贈を受けた。

'34(CINE Front KIOTO)◎能勢克男

★印の回は途中で森脇清隆氏(京都府京都文化博物館主任学芸員)の解説を挟みながらの上映となります(解説約30分)。

広島市映像文化ライブラリー

プログラム

C



C 5/16(日)0:00pm★ 5/25(火)3:00pm

広島・長崎における原子爆弾の影響

(164分・35mm・白黒)

EFFECTS OF THE ATOMIC BOMB ON HIROSHIMA AND NAGASAKI

日本映画社のスタッフが学術調査団に同行して被爆直後の広島、長崎の惨状を記録したフィルム。その後占領軍の管理下で完成、GHQによるフィルムの接収、21年後に16mmフィルムの返還という数奇な運命をたどった。今回上映するのは広島市映像文化ライブラリーと日映映像、フィルムセンターが共同で、米国立公文書館(NARA)所蔵のマスター・ポジからデューブ・ネガを起して35mmプリントを作成、新たな日本語字幕を付したものである。



写真提供:日映映像

'46(日本映画社)◎伊東壽恵男、小畑長蔵、奥山大六郎◎◎山中真男◎三木茂、鈴木喜代治、保野公男、坂齋小一郎、藤波次郎、今野敬一

★印の回は上映終了後に佐藤武氏(広島市映像文化ライブラリー主任)による解説(約20分)があります。

川崎市市民ミュージアム
 プログラム
D
 KAWASAKI CITY MUSEUM
 川崎市市民ミュージアム

D-1 5/14(金)3:00pm 5/22(土)3:30pm★

セレベス 海軍報道班員の報告 記録版
 (177分・35mm・白黒)

1942年1月11日、日本海軍はオランダ領セレベス島(現・インドネシア領スラウェシ島)の要衝メナドに奇襲攻撃を敢行。翌月9日には中心都市マカッサルに上陸、そして3月には民政部が設置された。本篇は大本営海軍報道部の監督により、新たに日本の占領地となったセレベス島の地勢やそこに住む人々、習俗などを内地に紹介することを目的として製作されたもので、『戦線後方記録映画 南京』(1938年)などで知られる秋元憲が監督にあつている。2004年に監督のご子息・秋元翼氏から寄贈を受けた可燃性プリントを不燃化。
 '44(社団法人日本映画社)◎◎◎秋元憲◎小倉金彌、吉田勝亮、本間金資、前田実ほか◎大木正夫



★印の回は上映終了後に江口浩氏(川崎市市民ミュージアム・映画担当)による解説(約20分)があります。

D-2 5/18(火)7:00pm 5/27(木)3:00pm

東宮殿下 歐洲御巡遊 御歸朝の実況
 (7分・18fps・35mm・白黒・無声・不完全)

1921年3月3日にヨーロッパ5カ国歴訪の旅に出た東宮殿下(後の昭和天皇)が、同年9月3日に横浜港へ帰国した後、横浜から鉄道で東京駅へ向かい、御所に戻るまでを記録したフィルム。原稿は、草創期の名カメラマン・ヘンリー小谷のご子息である小谷映一氏から寄贈を受けた35mm可燃性ポジ・フィルム。行程から考えると一部編集が混乱していると思われるが、そのまま上映する。
 '21(東京シネマ商会)



東久邇宮稔彦王殿下 臺灣御成
 (61分・20fps・35mm・白黒・無声)

1937年6月8日から17日にかけて台湾各地を訪問した東久邇宮稔彦王の記録。訪問地は台北を振り出しに、淡水、草山(現・陽明山)、新竹、日月潭、嘉義、阿里山、台南、高雄、屏東、花蓮港などを巡り、台北飛行場から帰投している。日本映画草創期に革新的な活躍をした映画監督・田中栄三のご息女で、映画編集者の田中松子氏から寄贈を受けた35mm可燃性ポジ・フィルムより2002年に不燃化。
 '37(台湾総督府)

福岡市総合図書館
 プログラム
E

E-1 5/14(金)7:00pm★ 5/26(水)3:00pm

神のいない三年間(120分・35mm・カラー)
 TATLONG TAONG WALANG DIYOS (THREE GODLESS YEARS)

日本軍将校とフィリピン女性の戦時下の悲恋を描いた1970年代フィリピン映画の傑作。国民的女優ノーラ・オノールが主演。監督のマリオ・オハラは俳優、脚本家としても活躍している。本作のネガは既に失われ、現存するプリントも劣化の危機に瀕していたが、福岡市総合図書館がデュープ・ネガの作成に尽力し、その後の上映が可能になった。



*本作はカラー映画ですが、原色の褪色のためモノクロに近い色彩になっています。
 '76◎◎マリオ・オハラ◎コンラッド・バルタサル◎ミランダ・D・アサルコン◎ノーラ・オノール、クリストファー・デ・レオン、ラファエル・ロコ・Jr.、オーランド・R・ナドレス、ベキエ・ガリヤガ、マリオ・エスクデロ、ヨランダ・ルナ
 ★印の回は上映前に八尋義幸氏(福岡市総合図書館・映像資料課主任学芸主事)による解説(約20分)があります。

E-2 5/15(土)1:00pm★ 5/25(火)7:00pm

福岡市総合図書館発掘日本映画
 (計89分)

義民 富田才治
 (15分・18fps・35mm・白黒・無声・不完全)

「虹の松原一揆」にまつわる義人伝を後世に残すため、唐津の安養寺住職が中心となり制作した自主映画。中根龍太郎一座にプロダクションを依頼したとの談話も残されている。後で編集に手が加えられ不完全な状態となっているが、そのまま上映する。
 '33



ドレミハ先生(43分・35mm・白黒・不完全)

山村の小学校。担任教師が実家のある東京で病氣療養することになった。お見舞いに行きたい子供たちは代表二人を東京に送り出す。主演は作曲家・八洲秀章。脚本の佃順は帝キネの歴史的ヒット作『籠の鳥』で知られる佃血秋の本名。現存プリントは途中1巻が欠落しているが物語の理解には支障はない。
 '51(教映)◎北賢二◎佃順◎井上堯◎古閑裕而◎八洲秀章、眞弓田一夫、江藤勇、美園春子、東紀江、服部哲治、鬼沢礼佑、平山てる子

海に生きる人々(31分・35mm・白黒)

漁村の「新生活運動」推進のために作られたPR映画。同時に、船舶エンジン・メーカーのPRにもなっている。生活の不安から結婚に踏み切れない若いカップルが主人公。劇映画仕立ての小芝居の合間合間に、当時(1960年代)の漁村の暮らしが記録されている。
 '59以降(日広通信)◎猿渡達夫◎中村博之、堀達美◎小台三四郎、須川奏吾、板谷久人、茅冷子、松尾茂、鮎沢町子、杉原俊二
 ★印の回は上映前に八尋義幸氏(福岡市総合図書館・映像資料課主任学芸主事)による解説(約20分)があります。

立命館大学アート・リサーチセンター
 プログラム
F
 ARTRESEARCHCENTER

F 5/16(日)4:00pm★ 5/19(水)7:00pm

戦前の小型映画文化—ホーム・ムービーは語る
 (計61分)

京都映画史の調査とアーカイブ活動を行う「京都映像文化デジタル・アーカイブ—マキノ・プロジェクト—」(2000年発足)。本プログラムでは、同プロジェクトがこれまでに収集・復元してきた映画のコレクションから、エトナ映画社撮影所長の田中英一(1916—2007)、1937年から41年にかけて日活社長を務めた森田佐吉(1874—1944)旧蔵のプライベート・フィルム(特記以外原画は16mm)、そしてパテベビーで撮られたホーム・ムービーを紹介する(作品題名は、フィルム缶やリールに記されたタイトルを採用)。

《エトナ映画の自画像》

田中英一のご子息・田中英雄氏から預かったフィルム11本中、35mm化を果たした4作品。

ロケーションの想ひ出
 (14分・18fps・35mm・白黒・無声)

エトナ映画社の第1作『神崎東下り』(1934年)のメイキング。ステージ借用先の片岡千恵蔵プロダクションやロケの撮影風景で、監督の後藤岱山、撮影の田中十三、主演の光岡竜三郎、三樹豊、楠武夫らが登場。リナー代わりについていた、祇園祭を撮ったフィルムもそのまま35mm化。
 '34◎◎田中聖峰(田中英一)



エトナスタジオ(3分・18fps・35mm・白黒・無声)

旧マキノ御室撮影所を購入してエトナのステージを作った1934年末から翌1月初頭の映像と推定される。後半は『鬼伏せ頭巾』(1935年、後藤岱山監督)のメイキング映像。
 '34-35◎田中聖峰(推定)

素人演藝名流大会
 (7分・18fps・35mm・白黒・無声)

自身の浪曲トッキー『神崎東下り』の製作を目的にエトナを設立したという社長の田中英一(田中英一の兄)が、京都日新聞社主催の演芸大会(1934年9月、於：京都公会堂)で「吉田榎丸」を名乗り浪曲を披露。後藤岱山が舞台設営をしている場面が「ロケーションの想ひ出」にあることから、同会の映像が『神崎東下り』で使用された可能性がある。
 '34◎田中聖峰(推定)

カメラマンの想い出 昭和10-20年頃
 (19分・16fps・35mm・白黒・無声)

田中英一が撮影に関わった『神崎東下り』、『成田不動尊御霊験記 平将門討伐 絵巻』(1934年、合同映画、中川紫郎監督、岸雅夫[田中英一]撮影)、『慶州佛国寺と石窟庵』(1941年、合同映画、中川紫郎監督)、恤兵映画の『四国便り』(詳細不明)のメイキング。原画はレギュラー8。
 '34-41



《旧日活社長・森田佐吉の記録》

森田佐吉氏の孫・森田隆夫氏から預かり、フィルムセンターに寄贈・35mm化を仲介した2作品。

森田長太郎氏出征
 (4分・16fps・35mm・白黒・無声)

森田佐吉と親族一同が甥・長太郎の出征を見送る様子。
 '40前後

日活太秦撮影所運動会
 (6分・16fps・35mm・白黒・無声)

撮影所内で開催された社員運動会の様子で、所内の稲荷、横田永之助の立像と日活マーク、所内オープンの景観も映っている。ラストは皇紀2600年旗の前で森田佐吉、片岡千恵蔵ら幹部の記念撮影。
 '40

《日常に向けた視線：パテベビー》

2008—2009年度に購入した9.5mmコレクションから、35mm化した4作品。

第5回撮影会作品
 (2分・16fps・35mm・白黒・無声)

愛宕スキー場(2分・16fps・35mm・白黒・無声)
 上記2作品は、大阪の9.5mmサークル羊光会のメンバー(氏名不詳)による撮影。京都の、今も変わらぬ景観と無くなったスキー場の様子が取められている。

橘や横浜出港(2分・16fps・35mm・白黒・無声)

阿波盆踊り(2分・16fps・35mm・白黒・無声)
 上記2作品は、同一人物(氏名不詳)のコレクション。『阿波盆踊り』は作者の子供が庭で遊んでいる様子を記録したと推定される。

★印の回は途中に富田美香氏(立命館大学映像学部准教授/マキノ・プロジェクト代表)の解説を挟みながらの上映となります(解説約30分)。

映画保存協会

プログラム

G

FPS

G 5/20(木)7:00pm 5/23(日)1:00pm★

「映画の里親」—市民の映画保存 (計67分)

失われた映画を発掘し、35mmプリント復元のための資金提供者を募る映画保存協会の「映画の里親」プロジェクト。同プロジェクトを通して甦った5本を一挙上映。

モダン怪談 100,000,000円

【松竹グラフィック版】(16分・16fps・35mm・白黒・無声)

駆け落ちした若い男女が赤城山に迷い込み、国定忠次の埋蔵金を発掘する人々や、忠次の幽霊に遭遇する。斎藤寅二郎の現存する最も古いナンセンス喜劇作品で、映画保存協会が2004年に発掘した16mmのダイジェスト版をブローアップ。「映画の里親」制度により復元された最初の1本となった。封切時は1,399mの作品であったが、その2割程度が現存している。

29(松竹蒲田)◎斎藤寅二郎◎大森文雄◎池田忠雄◎武富善雄◎斎藤達雄、松井潤子、坂本武、吉川満子、小倉繁

海浜の女王【松竹グラフィック版】

(16分・16fps・35mm・白黒・無声)

「映画の里親」第2回作品。蒲田モダンズを代表する牛原彦彦監督＝鈴木伝明主演の1本を2006年に復元。ある大事件の証拠をめぐって新聞社間の激しい争奪戦が勃発。青年記者・石川は敵の目を欺くために謎の美女に扮し、証拠の死守をはかる。二枚目スターの鈴木伝明が女装姿で水泳、カーチェイス、乱闘を繰り広げる。

27(松竹蒲田)◎牛原彦彦◎津久秋良◎小林正◎水谷文二郎◎鈴木伝明、柏美枝

学生三代記 昭和時代【マキノ・グラフィック版】(「野球の巻」「下宿の巻」)

(16分・16fps・35mm・白黒・無声)

「映画の里親」第3回作品。「学生三代記」は、マキノプロ製作の短編喜劇集で、『天保時代』『明治時代』『昭和時代』の3篇が同時に公開された。本篇は、2007年に映画保存協会、立命館大学アート・リサーチセンター、マキノ・プロジェクト、フィルムセンターが共同で16mmから35mmにデジタル復元したもので、『昭和時代』篇の8つのエピソードのうち、「野球の巻」「下宿の巻」が収録されている。

30(マキノプロ)◎川浪良太、滝澤英輔、久保為義◎◎八田尚之◎大森伊八◎横澤四郎、砂田駒子、津村博、泉清子

霧隠才蔵【パテベビー版】

(3分・16fps・35mm・白黒・無声)

「映画の里親」第4回作品。活動写真弁士の坂本頼光氏が入手した9.5mmフィルムから2007年に復元。『映画検閲時報』(内務省警保局編)によれば、伴野商店が1930年12月に家庭用パテベビー版『霧隠才蔵』の審査を受けているが、オリジナルの劇場用作品の詳細は不明。

黒手組助六【マーヴェルグラフィック版】

(16分・16fps・35mm・白黒・無声)

「映画の里親」第5回作品。林長二郎(長谷川一夫)の貴重な初期の無声映画。父を殺され家重代の宝刀・友切丸を奪われた花川戸助六が、下手人の鳥井新左衛門一味と大乱闘を繰り広げる。2009年に16mmの短縮版から復元。封切時の966mのうち、助六と揚巻太夫の濡れ場や立回りの場面など、約3分の1が残されている。

29(松竹下加茂)◎冬島泰三、古野英治◎◎前田孤泉◎杉山公平◎林長二郎、若水絹子、高田浩吉、坪井哲、中根龍太郎

★印の回は柳下美恵氏によるキーボード伴奏付きの上映。また上映前に石原香絵氏(映画保存協会代表)による解説(約20分)があります。

大阪芸術大学 玩具映画プロジェクト

プログラム

H

H 5/21(金)7:00pm★ 5/22(土)0:30pm★

ちゃんばら時代 (計65分)

35mmの玩具映画、9.5mmのパテベビーなど昭和初期に家庭用の映画として流通していた短縮版のフィルムを集め復元する大阪芸術大学の「玩具映画および映画復元・調査・研究プロジェクト」(玩具映画プロジェクト)。復元が完了したコレクションから、失われた剣戟映画の貴重な断片を精選して紹介する(特記以外は玩具映画からの復元)。

暗討ち(1分49秒・16fps・35mm・白黒・無声)

実録忠臣蔵(2分39秒・16fps・35mm・白黒・無声)

23(帝国キネマ)◎中川紫郎◎嵐璃瑛

怪傑鷹(1分25秒・16fps・35mm・染色・無声)

24(マキノ等持院)◎三川文太郎◎高木新平

国定忠治(1分26秒・16fps・35mm・染色・無声)

25(東亜キネマ等持院)◎マキノ青司(牧野省三)◎沢田正二郎

荒木又右衛門【パテベビー版】

(6分・16fps・35mm・白黒・無声)

25(日活大將軍)◎池田富保◎尾上松之助

中山安兵衛(3分48秒・16fps・35mm・染色・無声)

25(日活大將軍)◎波多野安正◎尾上松之助

夢現三百年往来

(2分22秒・16fps・35mm・白黒・無声)

26(東亜キネマ等持院)◎松屋春翠◎太田黒黄吉(団徳磨)

血染の十字架

(1分49秒・16fps・35mm・染色・無声)

27(阪妻プロ)◎安田憲邦◎阪妻三郎

浄魂【パテベビー版】

(9分・16fps・35mm・白黒・無声)

27(右太プロ＝河合映画)◎押本七之助◎市川右太衛門

平手造酒(30秒・16fps・35mm・染色・無声)

28(日活大森)◎志波西果◎大河内伝次郎

狂へる名君(23秒・16fps・35mm・染色・無声)

29(松竹下加茂)◎井上金太郎◎林長二郎

京へ上った退屈男

(50秒・16fps・35mm・染色・無声)

30(右太プロ)◎古海卓二◎市川右太衛門

素浪人忠弥(42秒・16fps・35mm・染色・無声)

30(日活大森)◎伊藤大輔◎大河内伝次郎

一心太助(1分38秒・16fps・35mm・染色・無声)

30(千恵プロ)◎稲垣浩◎片岡千恵蔵

まぼろし峠 江戸篇

(1分42秒・16fps・35mm・染色・無声)

31(右太プロ)◎古野英治◎市川右太衛門

続大岡政談 魔像解決篇

(1分41秒・16fps・35mm・染色・無声)

31(日活大森)◎伊藤大輔◎大河内伝次郎

花火(33秒・16fps・35mm・染色・無声)

31(千恵プロ)◎伊丹万作◎片岡千恵蔵

浪人の群(52秒・16fps・35mm・染色・無声)

31(日活大森)◎渡辺邦男◎河部五郎

初春 お好み安兵衛 花婿の巻

(1分44秒・16fps・35mm・染色・無声)

32(阪妻プロ＝新興キネマ)◎東隆史◎阪妻三郎

題名不詳(3分20秒・16fps・35mm・染色・無声)

◎市川百々之助

荒木又右衛門【マーヴェルグラフィック版】

(21分・16fps・35mm・白黒・無声)

1930年に製作された月形龍之介主演『荒木又右衛門』の短縮版。伊賀上野、鍵屋の辻の決闘で有名な仇討ちものだが、松竹下加茂撮影所は1950年にフィルム倉庫の火災で戦前の松竹京都作品のほとんどを焼失したため、この映画も「幻」の1本となっていた。発見された16mm短縮版では題名が「荒木伊賀越 三十六番斬り」と変更されている。特に後半は劣化が激しいが、現在可能な技術を駆使して復元している。



30(松竹下加茂)◎◎悪魔の助◎大隅俊雄◎杉山公平◎月形龍之介、高田浩吉、高松錦之助、広田昂、千代田秀一、高田篤、関操

★本プログラムは太田米男氏(大阪芸術大学芸術学部教授/玩具映画プロジェクト代表)の解説をまじえての上映となります(解説約40分)。

小ホール(地下1階)

京橋映画小劇場No.18

映画の教室2010

Film Class of 2010

5月7日◎-5月23日◎

*金、土、日曜日のみ上映

定員=小ホール 151名(各回入替制)

発券=地下1階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

- ・開映後の入場はできません。
- ・観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- ・発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締め切ります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- ・発券は各回1名につき1枚のみです。
- ・詳細は当該チラシをご覧ください。

展示室(7階)

【企画展】

映画資料でみる

映画の中の日本文学 Part 3

—戦後の文学—

Japanese Literature in Film Part 3

— From the NFC Non-film Collection

4月6日◎-6月20日◎ *月曜日は休室

フィルムセンターの所蔵品を中心とするスチル写真・ポスター・シナリオなどを通して、映画がいかにか日本のさまざまな文学作品を糧に生み出されてきたかをたどる展覧会。シリーズの第3回となる本展では、主として戦後期に活躍した作家たちの原作による映画作品に焦点を当てます。

【常設展】企画展に併設

展覧会 映画遺産

—東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより—

The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —

開室時間=午前11時-午後6時30分

(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATバスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

- * ()内は20名以上の団体料金です。
- * 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。
- * フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

月	火	水	木	金	土	日
10	A-1 フィルムセンター プログラム 実験映画の系譜：荻野茂 二から松本俊夫へ (計90分) 3:00pm	A-3 フィルムセンター プログラム 土[最長版] (117分) 3:00pm	A-5 フィルムセンター プログラム プラネット映画資料図書 館共同復元作品 (計77分) 3:00pm	D-1 川崎市市民ミュージアム プログラム セレベス 海軍報道班員の 報告 記録版 (177分) 3:00pm	E-2 福岡市総合図書館 プログラム 福岡市総合図書館発掘日 本映画 (計89分) 1:00pm *トーク・イベントがあります	C 広島市映像文化ライブラ リー プログラム 広島・長崎おける原子爆 弾の影響 (164分) 0:00pm *トーク・イベントがあります
11	A-2 フィルムセンター プログラム 戦前の記録映画・小型映 画特集 (計83分) *トーク・イベントがあります 7:00pm	A-4 フィルムセンター プログラム CIE映画選集 (計63分) 7:00pm	B-1 京都府京都文化博物館 プログラム 無憂華 九条武子夫人 (62分) 7:00pm	E-1 福岡市総合図書館 プログラム 神のいない三年間 (120分) *トーク・イベントがあります 7:00pm	B-2 京都府京都文化博物館 プログラム 京都文化のアーカイブ・コ ンテナとしてのフィルム (計64分) 4:00pm *トーク・イベントがあります	F 立命館大学アート・リサー チセンター プログラム 戦前の小型映画文化— ホーム・ムービー—は語る (計61分) 4:00pm *トーク・イベントがあります
17	B-1 京都府京都文化博物館 プログラム 無憂華 九条武子夫人 (62分) 3:00pm	B-2 京都府京都文化博物館 プログラム 京都文化のアーカイブ・コ ンテナとしてのフィルム (計64分) 3:00pm	A-4 フィルムセンター プログラム CIE映画選集 (計63分) 3:00pm	A-2 フィルムセンター プログラム 戦前の記録映画・小型映 画特集 (計83分) 3:00pm	H 大阪芸術大学 玩具映画 プロジェクト プログラム ちゃんばら時代 (計65分) *トーク・イベントがあります 0:30pm	G 映画保存協会 プログラム 「映画の里親」—市民の 映画保存 (計67分) *柳下美恵氏によるキーボ ード伴奏付きの上映 *トーク・イベントがあります 1:00pm
18	D-2 川崎市市民ミュージアム プログラム 東宮殿下歐洲御巡遊 御歸 朝の実況 (7分) 東久邇宮稔彦王殿下 臺 湾御成 (61分) 7:00pm	F 立命館大学アート・リサー チセンター プログラム 戦前の小型映画文化— ホーム・ムービー—は語る (計61分) 7:00pm	G 映画保存協会 プログラム 「映画の里親」—市民の 映画保存 (計67分) 7:00pm	H 大阪芸術大学 玩具映画 プロジェクト プログラム ちゃんばら時代 (計65分) *トーク・イベントがあります 7:00pm	D-1 川崎市市民ミュージアム プログラム セレベス 海軍報道班員の 報告 記録版 (177分) *トーク・イベントがあります 3:30pm	A-1 フィルムセンター プログラム 実験映画の系譜：荻野茂 二から松本俊夫へ (計90分) *トーク・イベントがあります 4:00pm
24	C 広島市映像文化ライブラ リー プログラム 広島・長崎おける原子爆 弾の影響 (164分) 3:00pm	E-1 福岡市総合図書館 プログラム 神のいない三年間 (120分) 3:00pm	D-2 川崎市市民ミュージアム プログラム 東宮殿下歐洲御巡遊 御歸 朝の実況 (7分) 東久邇宮稔彦王殿下 臺 湾御成 (61分) 3:00pm	EUフィルムデイズ2010 EU Film Days 2010 5月28日(金)–6月20日(日) www.eufilmdays.jp		
25	E-2 福岡市総合図書館 プログラム 福岡市総合図書館発掘日 本映画 (計89分) 7:00pm	A-5 フィルムセンター プログラム プラネット映画資料図書 館共同復元作品 (計77分) 7:00pm	A-3 フィルムセンター プログラム 土[最長版] (117分) 7:00pm			

■作品により開映時間が異なりますのでご注意ください。

図書室カレンダー

赤字は休業日

5月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

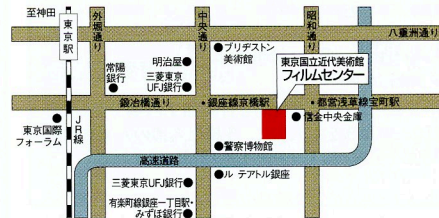
図書室(4階)

開室=火曜日-土曜日(午後0時30分-午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:
東京外口銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線室町駅下車、出口M4から中央通り方向へ徒歩1分
東京外口有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600
NFCホームページ:
<http://www.momat.go.jp/>
NFC携帯電話ホームページ:
<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

